

衣笠国際寮RMからの声 振り返りシートより（抜粋）



～英語力の向上～

- 半年間で、英語のスピーキング能力が大幅に向上した
- 言語の障壁やコミュニケーションの不安がほとんどなくなった
RMになる前には想像もできなかった
- 自身の英語力に自信はありませんでしたが、積極的に話しかけてみると笑顔で応えてくれる寮生が多くとても嬉しかった
- 初めて寮に来た時は、留学生に声をかけられても聞き取れずに曖昧なりアクションをしてしまったが、たくさん会話し、コミュニケーションに必要なのは言語力だけではないと学んだ。簡単な英語を使っていけば楽しく留学生と関わることができた。留学生たちと出かけることもあり、英語を使わなければならない状況でもやり抜くことができ自信をつけることができた

～自身の成長～

- コミュニケーション能力が向上した
- 自分の意見を明確に伝える力が向上した
- 相手の背景や感情を考慮してコミュニケーションをとることの大切さを学んだ
今後どのような環境においても大いに役立つと思う
- 問題解決能力や臨機応変に対応する能力が鍛えられた
- 全て抱え込まなくても、周りの人から助けを求めて良いことを学んだ
- リーダーを2回も務め、色々な意見や疑問を聞いてスムーズにまとめられるようになった
今は自信を持って、周りの人の意見を考えつつ、解決方法などを自ら提案することができる
- この2年間で毎週ミーティングに参加し、よく司会も務めたので、これからの活動でもRM活動から得たスキルを利用して行きたい
- 積極性が格段に成長した。一週間のいろいろな出来事をラウンジで話してみんなと仲良くなり、自分の予定が空いている時は、積極的に参加したことで、最初とは比べられないくらいみんなと距離が近くなった。おかげで、RMとしての仕事も自信が付き、来期はリーダーをするが、これも今期つけた積極性のおかげではないかと思う
- RMのリーダーを務めた経験は、後で就職してチームを任せたり、プロジェクトを進めて管理するのに役立つと思う

～チームの仲間～

- チームワークの大切さを知った
- RMメンバーや管理人の方とはとても親しく接していただき、ミーティング以外でも同じ時間を過ごす機会が多く、寮内での課題点をすぐに共有する事ができた
- 問題解決には、他のRMメンバーとの協力が必要不可欠であり、異なる背景や価値観を持つメンバーとの対話を通じて、共通の目標に向かって合意を形成するスキルを磨くことができた
- 責任感を持って業務を遂行する力と、他者と協力して問題に対処する力が大いに鍛えられた

～やりがい～

- RMの役割は、寮の清潔さを保つことだけでなく、国際学生が慣れない日本という国で適応し、楽しい生活を送れるようにする点で非常に重要だと考える
- 寮生のサポートをすることによって協調性と責任感が自然と生まれた
- 自分のことを頼ってくれているからこそ、その人たちがいい気持ちになるように努力できた

～かけがえのない友達～

- 非常に有意義な経験となった
- 元々基礎レベルで韓国語は話すことができたが、日本語でも進んでコミュニケーションをとってくれる寮生も多く、各フロアに友達ができた
- たくさんの国の留学生と交流ができたし、言語交換であったり、文化の交流などを楽しむことができた
- 毎月イベントを開催し、多くの寮生が参加することができ、寮を離れても、日本を離れても常に連絡を取り合い、良好な関係を維持することができた
- 送別会は、感動的で思い出深い会となった。自国に帰っても連絡を取り合い、長く付き合える友人がたくさんできた